

※ 今週のアウトルック(3/13~3/17)

先週はFRBの会見と米国雇用統計の発表に大きく動かされる週となりました。
今週は、米国失業率悪化の影響がどの程度広がるのかを
まずは見極める必要があります。

先週のドル円は大きく動く週となりました。
水曜日のFRB議長会見後、利上げに対する強気な見方が大勢となり
一時、138円付近までドル円は上昇しました。
金曜日の米国雇用統計では失業率が予想より悪化したため、
3月のFOMCでの利上げ幅が25bpとの見方が強まり、
ドル売り優勢で135円付近まで下落しそのまま週末を迎えました。

今週は米国失業率悪化の影響がどの程度広がるかをまずは見極める必要が
ありそうですが、米国の経済指標の良し悪しに一喜一憂する状況が、
しばらく続くかもしれません。

ドル円の予想レンジは130円から138円です。

先週のユーロ円は、145円付近のレジスタンスで足踏み状態が続き金曜日には143円台
145円超えとなりましたが、週末にかけて再び下落しました。

今週は再び、145円超えを狙えるような状況となるかどうか注目されますが、
ユーロドルがリバウンドから1.1を目指すような状況となれば、
ユーロ円上昇の可能性もあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは140円から148円です。

ポンド円は163円付近で、方向感を見出しづらい状況が続いています。
ポンドドルが1.2以上をキープできれば、再び170円を目指す展開も
期待できるかもしれません

ポンド円の予想レンジは155円から170円です。

米国失業率悪化からのドル売りが、どの程度で終息するのか。
3/23のFOMCまでは、経済指標に一喜一憂して大きく動く展開も
考慮しておいた方が良くかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。